

1 はじめに ～3年生の現況～

9月下旬に、3年生が受験する大学入学共通テストの志願票を発送しました。刈高祭が終わったタイミングで大学入学共通テストの志願票を発送することが、本格的な受験勉強開始のスイッチになったように感じています。とにかく、健康な状態で受験し、希望進路が実現することを祈るばかりです。そして、その成功例を2年生に伝え、刈高のよき伝統が続いていくことを切望しています。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、現3年生は大きな影響を受けました。しかし、そんな状況下でも校外模試等では好成績を取っています。朝早くから夕方遅くまで学習室で必死に学習している姿は、頼もしく感じますし、後輩たちにも好影響を与えるのではないかと考えています。

2 希望進路の実現に向けて ～基礎を大切に～

【令和元年度、令和2年度愛知県立刈谷高校「進路の手びき」合格体験記より抜粋】

- ・予習、復習で学力を確かなものにする、ということはもちろん重要な意味はありますが、それよりも毎日勉強を一定量やるという意味あいの方が大きいと思います。
- ・私が受験勉強をしていて実感したことは「刈高の授業だけで十分力がつく」ということです。過去問を解いて知らないことがあっても、あとで過去の授業のノートやプリントを見返してみると書いてあることが何度もありました。
- ・3年間継続したことが3つあります。「学校に通うこと」、「部活に参加すること」、「朝ごはんを食べること」です。(中略)少しでも本来の自分を出したいのならルーティーンを作ることをオススメします。
- ・苦手な単元はセミナーの基本例題からすべてやり直しました。このような勉強法がとても自信となりました。皆さんも最後まであきらめず、自分の力を信じて頑張ってください。
- ・自分の学力の分析と管理。模試を大事にしましょう。(中略)苦手分野の自覚や危機感を最大限、有効活用してください。
- ・私の受験期は「信念」の一言に尽きます。(中略)4月に決めた志望校を最後まで変えずに挑みました。

これは本校卒業生による合格体験記です。いずれの先輩たちも基本的なことをおろそかにせず継続してきたことがわかります。

授業や部活動で指導している際によく感じるのですが、スポーツで試合に必ず勝てる練習法、勉強において必ず点が取れる勉強法はあるでしょうか？ 基礎練習をしない強いチームはないと思います。基礎を学習しない成績の良い人もいないと思います。したがって、「基礎をいかに高い意識でやるか」が成長の秘訣ではないでしょうか。2年生は今月で高校生活の折り返し点となります。日々の授業をしっかり聞き、予習・復習を定着させることを今一度見直すことをおすすめします。

また、体験談にありますように、「食事」をはじめ、「睡眠」など安定した生活リズムが重要です。授業、部活に予習、復習と忙しい刈高生活だと思えますが、生活の中心は食事と睡眠だと考えます。御家庭でのサポートをよろしくお願ひしたいと思えます。

3 令和3年度入試（現3年生が受験）を取り巻く環境

- ・景気後退が予測され、不況に強い理系人気が高まる。
- ・リモートワークの拡大の影響、都市部の感染拡大の影響による地元志向のさらなる高まり。
- ・何が起こるか分からない不確実性の高い入試。
- ・入試スケジュール決定が遅れたので、情報収集が重要度を増す。
- ・主体性評価（調査書点数化、志望理由書提出）の動き

これは、令和3年度入試を取り巻く環境について、入試研究会等で聞いた話をまとめたものです。1年後どのように変化するかも予測できない時代ですが、こうした現状を注視して3年生の入試を見守っていただき、来年度入試の参考にしていただければと思えます。

4 令和4年度入試へ向けて ～「強い希望」と「正しく新しい情報の収集」～

本校進路指導部は「第一希望を最後まで貫かせる」ことを基本方針としています。現時点で2年生の多くの生徒が、いわゆる「難関大学」を希望しています。しかし、生活実態調査の「志望校に対する熱意」の項目において、『絶対行きたい』が32.7%なのに対し、『できれば行きたい』の方が47.8%と高い数字となっています。上記2.の合格体験記にもありますように、『信念』を貫く強い気持ちが希望進路実現のために大事なことだと常々感じています。少しでも自信を持てるように指導してまいりたいと思えます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、令和3年度入試では多くの大学が何らかの変更を余儀なくされています。この流れは2年生が受験する令和4年度入試へも確実に影響していきます。「令和3年度入試のみ『コロナ禍』で内容変更」ということもあり得ます。自分が希望する大学の情報は、最新の情報をしっかりと自分で調べて確認することが重要です。

5 最後に

今年度は10月の中間審査中に実施されていた学年保護者会が中止となってしまいました。例年、業者に依頼して保護者の方対象に進路に関する講演を行っていましたが、できなくなってしまいました。そこで、今年度は「オンラインによる進路講演」を現在検討中です。詳細が分かり次第、ご案内申し上げます。お一人でも多くの方がご視聴いただければ幸いです。

（文責 進路指導主事 岩崎 達哉）

参考資料

河合塾、駿台予備学校、ベネッセコーポレーション各種進学指導資料

- ・予習、復習は毎日勉強を一定量やるという意味合いが大きい。
- ・刈高の授業だけで十分力がつく。わからないこともノートやプリントを見返してみると書いてあることが何度もあった。
- ・3年間継続したことは「学校に通うこと」、「部活に参加すること」、「朝ごはん食べること」
- ・ルーティーンを作ることをオススメします。
- ・苦手な単元は基本例題からすべてやり直した。それが自信となった。
- ・最後まであきらめず、自分の力を信じてがんばる。
- ・模試を大事にし、苦手分野の自覚や危機感を最大限、有効活用すべき。
- ・「信念」の一言。4月に決めた志望校最後まで変えずに挑んだ。

【令和元年度、令和2年度愛知県立刈谷高校「進路の手びき」合格体験記より作成】